

# 全国協議会 ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL. (03)3356-8217  
FAX. (03)3356-8637  
発行責任者:品川 保弘  
http://www.marow.or.jp/  
E-mail:office@marow.or.jp

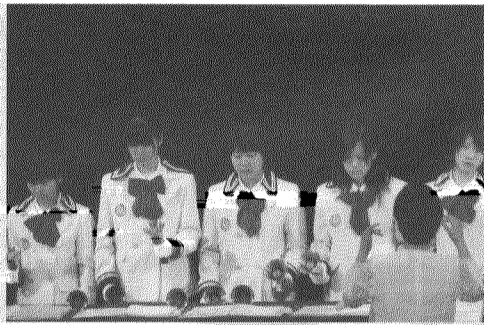
郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 全国骨髄バンクボランティアの集いin伊賀

5月28日、伊賀市文化会館で  
全国協議会・三重県・伊賀市共  
催(主管・勇気の会)による  
「2005全国骨髄バンクボラ  
ンティアの集いin伊賀」が開催  
され、500名という多くの参  
加者がありました。

### 盛りだくさんのイベント

記念式典に先立ち、日生学園  
第一高等学校ハンドベル部による  
ハンドベル演奏があり、記  
念式典後の第2部では、演劇  
「華」、プロゴルファー中溝裕子  
さんの記念講演がありました。  
関連イベントとして骨髄バンク  
登録会、いのちの輝き展、「いのち  
のあさがお」の苗の無料配布も行  
われ盛り沢山の企画でした。



通常総会、代表者会議を開催  
ボランティアの集いに続いて  
場所をウエルサンピア伊賀に移  
し、2005年通常総会が開か  
れ、翌29日には旧藩校の崇徳堂  
講堂で代表者会議が行われまし  
た。  
なお、来年の集い・総会は千  
葉県で開催されます。

### 全国骨髄バンクボランティアの集いin伊賀を終えて

5月28、29日と2日間に渡り  
参加された皆様、準備に奔走し  
ていただいた皆様、お疲れ様で  
した。ありがとうございました。  
はるばる伊賀までお越しいただ  
いた中で、有意義な集いとなり  
ましたでしょうか。伊賀ならで  
は、勇気の会ならではの集いを  
実現したい想いを持って、地元  
の青年会議所さんや社会福祉協  
議会等地域の人の協力を仰ぎ  
ながら、実行委員会を立ち上げ  
準備を進めてきたことで、当初  
の目的を果たすことができたの  
ではないかと思っております。

「いのちの輝き展」スタート  
全国骨髄バンク推進連絡協  
会15周年記念事業となる「いの  
ちの輝き展」が、ホワイエで開  
催されました。日生高校の生徒  
さんも熱心にあやちゃんの絵や  
MAMOのメッセージに見入っ  
ていました。今回の伊賀大会を  
皮切りに、来年の千葉大会まで  
全国各地を巡回します。  
なお、各地への搬送について  
は、全面的に西濃運輸(株)の協  
力をいただいております。



### 11団体に感謝状贈呈

記念式典では、主催者、開催  
地、来賓挨拶につき感謝状贈  
呈式が行われました。贈呈先の  
11団体のうち出席いただいた団  
体代表者の方に大谷副会長(当  
時)から感謝状を贈呈し、代表

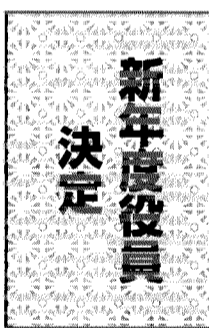
## 海部幸世会長が勇退 大谷貴子新会長にバトンタッチ

1992年5月より、骨髄バ  
ンクボランティアとして先頭に  
立って私たちと共に活動された  
海部幸世会長が、このたび勇退  
されることとなり、新会長には  
大谷貴子副会長が就任しました。



このたび、会長という大役を  
仰せつかりました大谷貴子です。  
骨髄バンクを作る運動から始め、  
海部幸世前会長とともども、より  
よい骨髄バンクを目指してこれ  
まで活動して参りました。海部  
前会長が、長きに渡り全国協議  
会を牽引していただき、本当に  
この上ない、感謝でいっぱい

です。海部前会長の後任というに  
はあまりにも微力ではございま  
すが、海部前会長のご功績を継  
承していきたいと思っております。  
私はこれまで全国各地をま  
わって、自分の体験や骨髄バン  
クのことをお話ししてきました。  
また、たくさんのお患者さんと出  
会い、語り合ってきました。こ  
うした体験や出会った方々は私  
にとって大きな財産だと思っ  
ています。  
ドナー登録30万人への道のり、  
患者負担金の存在、移植医療体  
制の充実と、まだまだ山積され  
ている様々な問題がありますが、  
私なりに全力で取り組んで行く  
所存でございますので、どうぞ  
皆様のお力をお貸しください  
ますよう、よろしくお願ひいた  
します。



## 新年度役員 決定

総会の確認と理事の互選によ  
り、2005、2006年度の  
役員構成は次のとおりとなりま  
す。

- 会長 大谷貴子
- 副会長 笠原慶一
- 理事長 金子和子
- 理事 陽田秀夫
- 副理事長 品川保弘
- 事務局長 菅早苗・中野勝博・二見茂男・四方田淳
- 理事 三田村真
- 副理事長 大橋一三・小川真理
- 理事 川瀬和子・齋藤江美
- 監事 昭・土居優子・遠山将一・中津和美・畠山茂房
- 監事 大塚和博・三瓶和義・吉永忍

## 全国協議会設立15周年記念事業 「いのちの輝き展」全国で開催中

栃木  
栃木県民の日の  
イベント会場にて

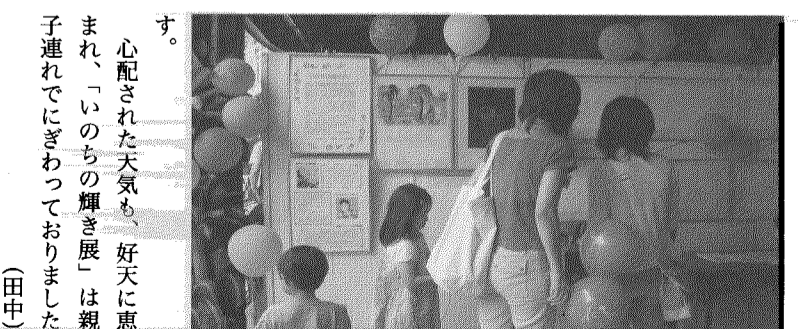


りました。  
当日は、大田原女子高JRC、那須拓陽高校生徒さんのご協力により、チラシの配布、同時に献血の呼びかけ実施。またJRC部生さんが中心になつたペンシルバルーンコーナーはお子さんに大好評でブーイングの前は大勢の人出でした。

全国協議会15周年記念事業「いのちの輝き展」のテントは、人は少なかつたものの、見た人の心に訴えかける事が出来たと確信しています。登録者19名、募金 33,364円でした。(高橋)

岐阜  
「いのちの輝き展」を  
各務原にて開催

6月12日(日)の1日だけでしたが、「各務原市健康のつどい」の開催に合わせて、各務原市総合福祉会館で献血併行登録会とともに「いのちの輝き展」を開催いたしました。  
会場は、福祉会館の正面玄関前にある車庫に、展示用パネルを設置した一角で、献血併行登録会のため、献血車の隣でのことで毎年お願いしている処



心配された天気も、好天に恵まれ、「いのちの輝き展」は親子連れでにぎわっております。(田中)

## 第51回 理事会報告

- 6月18、19日 (静岡県駿東郡)
- 市民公開フォーラムへの拠出金について
- 年賀はがき寄付金配分について
- 事務局員夏期賞与について
- 名義後援、承認案件
- 三重全国大会総括
- 15周年事業進捗状況
- 朝日新聞報道対応、及び財団決算について
- 海部会長退任について
- パンフレット「ご案内」更新について
- 財団常任理事会報告
- 新理事オリエンテーション

- 15周年記念事業協賛金・協賛品 (5月23日~6月20日)
- 日本たばこ産業株式会社 200,000円
- 住友製薬株式会社 100,000円
- 協和発酵工業株式会社 100,000円 (敬称略)
- 企業、団体のほか、個人の皆様からの協賛も募っております。ご協力、よろしくお願ひいたします。



# ローカルアイドルライブ 骨髄バンクチャリティイベント

6月5日、愛知万博のサテライト会場で、各地で活躍しているローカルアイドルグループが集結したライブが開催され、骨髄バンクのチャリティイベントが行われました。

イベントを主催した「ブレイブアンドカンパニー」代表の棚村健司さんが、苦小牧のグループ「タッチ」をプロデュースしている苦小牧の会の矢嶋さんから、「タッチ」が骨髄バンクのPRに協力している事を聞き、今回のライブを社会貢献イベントとして取り上げていただいたものです。

イベントでは、癌で闘病中だった友人のために棚村さんが

作った曲ひとりじゃないから」が骨髄バンクチャリティソングとして初披露され、骨髄バンクの活動紹介とチャリティの呼びかけが2回行われました。また、出演したアイドルのグッズオークションとチャリティソングのCD販売も行われ、全国協議会にご寄付をいただきました。

今回は7月3日に同様の内容で開催される予定です。こうした形で協力いただけることは大変ありがたいことです。ローカルアイドルは全国各地で活躍中という点です。各地でもアプローチしてみたいかがでしょうか。(二見)



5月22日、有明海の干潟の祭典「第21回鹿島ガタリンピック」が鹿島市七浦海浜で行われ、約2万5千人の観衆が人間ムツゴロウに歓声をあげました。桑原市長、中島実行委員長をはじめボランティアの東部中学生等の支援で、献血併行登録を呼びかけました。

佐賀支部の登録、学習啓発活動は草の根型で、年間30数回地域で活動していますが、これが成果として人口比で高率を出していることにつながっていると思われ、これが、次の活動へのエール、エネルギーになっていくと、継続の励みになっています。しかし、各種のイベント毎に、併行型がとれないという難題が残っています。献血車と私達バンク活動場所の隔たりが登録者数5名のみという結果に表れています。

6月3日に「第6回何もしないより元気ウオーク阿賀野市」阿賀町」を行いました。

精進の良い人ばかりなので心配していたお天気も良く、全行程27kmを完歩した人は12名、途中参加者も併せてボランティアは21名の参加でした。2市町長にメッセージ文を渡し、行政として協力をしてくれるようお願いをし、それを心良く受けてもらうことが出来ました。

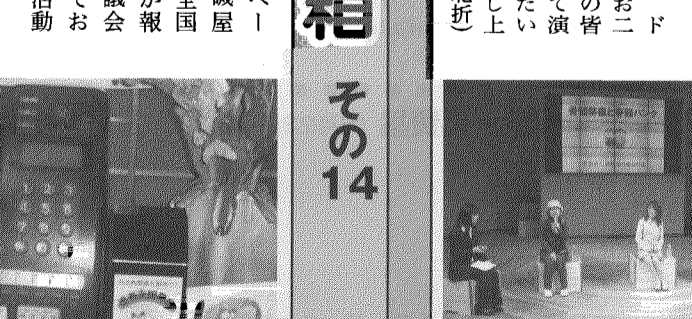
報道もテレビ局3社と新聞社2社が来て、夕方のニュースや翌日の新聞にしっかりとPRしてくれました。ライオンズさんも車を出してくれたり、女性記者が2区間10kmを一緒に歩き、元気な元患者さん達と楽しくウォーキングが出来たと喜んでくれたことは、とてもうれしい事でした。(小師)

5月30日「愛・地球博」瀬戸会場に於いて、骨髄バンク登録が18才から可能になったことを記念して、小澤洋介氏のチェロと三戸素子氏によるバイオリンのコンサートと、患者さんドナーさんをお交際のトークショーを行いました。

瀬戸会場は市民参加の場であり、長久手会場のように多くの方が行き

か会場ではありませんが、それでも約350名という多くの方が耳を傾けて下さいました。トークの終盤では、昨年、6歳のお姉ちゃんから移植を受けた4歳の男の子も元気に参加して下さいました。

お話しいただいた患者さん、ドナーさん、演奏して下さいましたお二方、現場の万博協会スタッフの皆様、ボランティアさん、そして演奏、トークに耳を傾けていただいた方々、全てに感謝、御礼申し上げます。(北折)



「今では現役時代より忙しい」とのことです。骨髄バンク運動はまだまだ現役続行です、小島さん！(四方田)

## リレー紹介 ボランティアの仲間たち

### 小島宗三さん(宮城)の巻

ドナー登録会でもいつも、呼びかけに、案内に、説明にと率先してアクティブに動き回っている小島さん。宮城の協議会発足時からずっとこの運動にかかわっていて、現在は副運営委員長として協議会を牽引しています。

小島さんはまた、グリーンウッドハーモニーという仙台を中心に活動している混声合唱団(ほとんどプロの領域?)に所属しており、全国コンクールにもしょっちゅう出場しているそうです。

「今は現役時代より忙しい」とのことです。骨髄バンク運動はまだまだ現役続行です、小島さん！(四方田)



「今では現役時代より忙しい」とのことです。骨髄バンク運動はまだまだ現役続行です、小島さん！(四方田)

「今では現役時代より忙しい」とのことです。骨髄バンク運動はまだまだ現役続行です、小島さん！(四方田)

「今では現役時代より忙しい」とのことです。骨髄バンク運動はまだまだ現役続行です、小島さん！(四方田)

「今では現役時代より忙しい」とのことです。骨髄バンク運動はまだまだ現役続行です、小島さん！(四方田)

## 心からのご寄付に感謝申し上げます

5月24日～6月20日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
㈱ブレイブアンドカンパニー	現金	76,000円
社団法人東入間青年会議所	現金	5,000円
株式会社サカタのタネ	現金	30,000円
ナイチンゲール生誕祭	現金	40,000円
徳島県立看護学院看護学科	現金	10,000円
函館骨髄バンク推進協議会	現金	61,200円
ノーレート麻雀ネットワーク	現金	10,000円
区「牌友会」	現金	5,000円
切明 隆	現金	100,000円
田村 隆輔	現金	1,000円
塩谷 圭	現金	11,280円
匿名	現金	41,960円
陽田秀夫	現金	30,000円
横山秀夫	現金	30,000円
大塚専司	現金	1,000円
吉本哲也	現金	1,340円
鈴木純子	現金	1,640円
中村美恵子	現金	2,000円
飯島孝枝	現金	30,000円
櫻井康司	現金	15,000円
一柳泰樹・美樹・道徳	現金	5,000円
匿名	現金	5,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
東京マリンロータリークラブ	現金	200,000円
神奈川骨髄移植を考える会	現金	100,000円
佐藤久美子	現金	3,000円
切明 隆	現金	5,000円
牧野礼男	現金	4,500円
●白血病患者支援基金・募金箱		
株式会社ウエダ薬品	現金	39,611円
ダウ化工株式会社	現金	2,132円
クスのアオキこぼとの会	現金	87,551円
クスのアオキ大沢野店	現金	4,074円
株式会社北越ケーズ	現金	350,000円
可児東ライオンズクラブ	現金	18,388円
日野巧大	現金	24,000円

活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

お詫び  
前号のこにちは募金箱  
キャプション欄の山田君は、  
安田君の間違いでした。お  
詫びして訂正させて頂いた  
きます。

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

●骨髄提供年齢が「55歳」に拡大、登録年齢も「54歳」に引き上げ  
厚生科学審議会疾病対策部会の第26回造血幹細胞移植委員会(5月24日)で、骨髄提供年齢の引き上げについて、妥当とする結論が出されました。

提供年齢55歳(登録は54歳まで)の実施時期はまだ決まっていますが、満55歳になった時点でコーディネーターが進んでいる場合は、継続してコーディネーターが行われることになり、また、51歳を超えて登録取り滞りとなった方々への対応についても検討されています。登録年齢の下限が「18歳以上」となったことと合わせて年齢幅が7歳ほど広がり、登録者数の増加につながるものと期待されています。

登録年齢 18歳～54歳 提供年齢 20歳～55歳

●AC広告にサッカー元日本代表主将・井原正巳氏を起用  
今年度の公共広告機構の支援キャンペーンに、井原正巳氏が登場することが、同機構総会(5月27日)で公表されました。テレビ、ラジオ、新聞などのメー

●日本骨髄バンクの現状(2005年5月末現在)

	4月	5月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,008	2,466	208,097	266,499
患者登録者数	182	213	2,973	18,428
骨髄移植例数	60	64	—	6,463
20歳未満ドナー	—	155	335	—

(注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクボランティア  
フリーダイヤル  
0120-892-106

## こにちは募金箱

磯屋食堂(愛知県豊田市)  
磯屋食堂さんは、創業35年の昔ながらの定食屋さんです。うどんやおそば、ハンバーグやオムレツ等たくさんメニューが並んでいます。

骨髄バンク関係者のリスナーも多い、CBCラジオつボイノリオさんの番組を聴いているリスナー仲間ということもあって、お店に募金箱を設置いただくことになりました。

磯屋食堂さんではホームページを開設されていて、「磯屋ニュース」のコーナーでは全国協議会に寄付された募金額が報告されています。全国協議会ホームページもリンクされており、日々骨髄バンクのPR活動に協力頂いております。

お近くにお越しの際には、ぜひ磯屋食堂に足をお運びください。(古田)

